TECHNICAL GUIDE: ARCSERVE® UNIFIED DATA PROTECTION

Arcserve[®] Unified Data Protection v6.5

環境構築ガイド

コンソール + 復旧ポイントサーバ (フル コンポーネント)

インストール編

2018年11月

REV: 1.2

目次

はじめ	はじめに1		
1. イン	ッストール2		
1.1	インストール前の確認と準備2		
1.2	インストール5		
1.3	ライセンス キーの登録 10		
2. 運用	月開始のための設定12		
2.1	環境設定ウィザード12		
3. 補5	2情報		
4. 製品	品情報と無償トレーニング情報21		
4.1	製品情報および FAQ はこちら 21		
4.2	トレーニング情報		
4.2.1	無償トレーニング		

変更履歴:

2017 年 3 月 v1.0 作成

2017 年 6 月 v1.1 Update1 情報反映 及び一部内容追加、誤字修正

2018 年 11 月 v1.2 Update4 情報反映 及び一部内容追加、誤字修正

注意:この資料は2018年11月現在の製品をもとに記述しています

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有償で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。Copyright © 2017-2018 Arcserve, LLC and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.

はじめに

Arcserve[®] Unified Data Protection (以降 UDP と表記) は、非常に「簡単」かつ「手頃」なディスク ベースのシステム保護ソリューションです。単体サーバで構成される小規模なコンピューティング環境にも、複数サーバで構成される大規模なコンピューティング環境のニーズにも必要とされるバックアップ・リカバリ機能を提供します。

導入から運用を開始するまで、ほんのわずかな時間と設定で済むだけでなく、一度運用を始めると専門知識や手間をかける必要がほとんどないため、バックアップ運用管理者の手薄な拠点や小規模な部門でも安心してお使いいただくことができます。

本ガイドでは、サーバ管理やバックアップ運用経験の少ない方でも、簡単に UDP の環境構築を行っていただける よう、ステップバイステップでインストールから運用開始までの手順を説明しています。

なお、本ガイドでは以下のような環境で、UDPのすべてのコンポーネントを1台のサーバに構築することを想定していますが、マシン性能によってはコンソールと復旧ポイントサーバを別マシンに分けて導入することも検討してください。導入に必要なメモリやディスクは動作要件で確認いただけます。

<動作要件> https://support.arcserve.com/s/article/212366726?language=ja



<参考> Arcserve UDP のコンポーネントについて:

- UDP エージェント: バックアップおよびリストアを実行します。
- UDP 復旧ポイントサーバ (Recovery Point Server: RPS): バックアップ データ(復旧ポイント)を保管するデータストアを提供します。 (UDP エージェントが同時にインストールされます)
- UDP 管理コンソール: バックアップ対象やバックアップ スケジュールの管理、および操作画面を提供します。 統合管理を行う場合に導入します。

1. インストール

本ガイドでは、Arcserve UDP エージェント、Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ、Arcserve UDP コンソール 計3コンポーネントをすべてインストールする手順をご説明します。 説明手順は、ご使用の環境により一部手順が異なる場合がありますのでご注意ください。 インストールの必要なディスク要件は、環境により異なりますので下記動作要件をご参照下さい。 動作要件の参照先 : https://support.arcserve.com/s/article/212366726?language=ja

1.1 インストール前の確認と準備

※ Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 環境の場合、Arcserve UDP をインストールする前に、あらかじめ.NET Framework 3.5 SP1 を導入する必要があります。

.NET Framework 3.5 SP1 の導入は Windows のサーバーマネージャより、[役割と機能の追加] から [アプリケーション サーバ] – [.NET Framework 3.5 Features] を選択します。

1	役割と機能の追加ウィザード	_ D X
サーバーの役割の通 間始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 アブリケーション サーバー 役割サービス 確認 結果	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。	対象サーバー WIN-1154P1HQCA1
	<前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

6	役割と機能の追加ウィザード	_ □ X
機能の選択		対象サーバー WIN-E9NP33VEUOK
開始する前に	選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。	
インストールの種類	機能	説明
サーバーの選択	▶ NET Framework 3.5 Features	.NET Framework 3.5 では、.NET
サーバーの役割	▶ I .NET Framework 4.5 Features (インストール済み	Framework 2.0 API の機能にアノリ ケーション作成用の新しいテクノロジが加
機能	□ BitLocker ドライブ暗号化 目	わりました。ユーザーは、魅力的なユー ザー インターフェイス 頭をの個人情報保
確認	□ BitLocker ネットワーク ロック解除	護、シームレスで安全な通信を利用でき
結果	BranchCache	ます。また、さまざまなビジネス プロセスを モデル化することができます。
	□ HITP フロキンで経由した RPC □ TD マドレフ管理 (TDAM) H=JC=	
	□ IF / 1 / 2 = 2 = 1 = 2 = 2 = 2 = 2 = 2 = 2 = 2 =	
	□ LPR ポート モニター	
	□ Management OData IIS 拡張機能	
	Media Foundation	
	□ NFS クライアント	
	□ RAS 接続マネージャー管理キット (CMAK)	
	RDC (Remote Differential Compression)	
	< III >	
	<前へ(P) 次へ(N)) > インストール(I) キャンセル

[インストールオプションの確認] 画面で[インストール]をクリックします。

インストール対象のサーバがインターネットに接続されていない場合は、Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 のインストール メディアを挿入し、[代替ソース パスの設定]をクリックします。

B	役割と機能の追加ウィザード	_		x
インストール オプシ	ョンの確認 w	対 IN-E9NP3	泉サーバ・ 3VEUO	ĸ
▲ 代替ソース パスを指定する必	要がありますか?1 つ以上のインストールの選択項目がインストール先サーバーにないソース ファイルで	す。サーバー	. ,	<
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール] ?	ミクリックして	ください	۱.
インストールの種類	□ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する			
サーバーの選択	オプションの機能 (管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可	能性があり	ます。こ	n
サーバーの役割	らのオノションの機能をインストールしない場合は、【前へ】 をクリックして、チェック ホックスをオフにし	くたざい。		
機能	.NET Framework 3.5 Features			
確認	.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)			
結果				
	構成設定のエクスポート			
	代替ソースパスの指定			
	<前へ(P) 次へ(N) > インストール	(I) ≄·	ャンセル	,

[代替ソース パスの指定] 画面にて、[パス]に Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 のインストール メディア内のサイド バイ サイド ストア (SxS) フォルダへのパスを指定します。

[OK]をクリックし、 [インストール オプションの確認] 画面にて[インストール]をクリックします。

≧ 役割と機能の追加ウィザード	x
代替ソース パスの指定	
一部のサーバーに、すべての役割、役割サービス、または機能を追加するために必要なすべてのソース ファイルがない可能化 ります。ソース ファイルがインストールされていないか、オペレーティング システムのインストール後に削除された可能性がありま	生があ :す。
役割または機能をインストールするサーバーに必要なすべてのソース ファイルがない場合、Windows Update、またはグル ポリシーで指定されている場所からファイルを取得できる可能性があります。	,ープ
また、対象サーバーにリソース ファイルがない場合は、リソース ファイルの代替バスを指定することもできます。ソース バスまた イル共有は、Everyone グループに読み取りアクセス許可を与えるか(セキュリティ上の理由からお勧めしません)、または対 サーバーのコンピューター(ローカル システム)アカウントに読み取りアクセス許可を与える必要があります。 つまり、ユーザー フ トにアクセスを許可しても不十分です。	はファ 像 アカウン
次の例は有効なソース ファイル バスです。対象サーバーはローカル サーバーで、E: ドライブには Windows Server インズ ル メディアが挿入されています。	ストー
.NET Framework 3.5 機能のソース ファイルは標準インストールの一環としてはインストールされていませんが、サイド バ ド ストア (SxS) フォルダーにあります。 E:¥Sources¥SxS¥	ዝ ዋላ
他の機能のソース ファイルは、Install.wim ファイルにあります。 パスに WIM: プレフィックスと、 ソース ファイルの取得元イン インデックスを示すサフィックスを追加してください。 次の例では、 インデックスは 4 です。 WIM:E:¥Sources¥Install.wim:4	(ージの
パス: E:¥Sources¥SxS¥	
ОК ‡ рУ	セル

1.2 **インストール**

(1) インストールの開始

Arcserve Unified Data Protection (以降 UDP と表記) をインストールするコンピュータに、 Administrator または Administrators グループのユーザでログオンします。 「Arcserve Unified Data Protection」 インストール メディアをセットし、ドライブのルートフォルダ からセットアップ ファイル [setup.exe] を実行することにより、セットアップ ウィザードが 開始されます。

(2) [セットアップ言語の指定]

[Japanese / 日本語] を確認し、[OK] をクリックします。

	セットアップ言語の選択		x
1 2	言語を選択します。		
	Japanese / 日本語	¥	

(3) [使用許諾契約]

使用許諾契約を最後まで読み、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し[次へ]をク リックします。



(4) [インストールの種類]

[インストール するコンポーネントの選択] から、 [Arcserve Unified Data Protection – フル] を 選択し、[次へ] をクリックします。

	Arcserve Unified Data Protection セットアップ
arcserve	unified data protection
 ✓ 使用許諾契約 インストールの種類 デスティネーションフォルダ 環境設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの消費状況 インストールレポート ※ <li< th=""><th>インストール タイプの選択: ・ インストールするコンボーネントの選択: ・ ・ Arcserve Unified Data Protection - エージェント ・ Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。) ・ Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。) ・ Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。) ・ Arcserve UDP コンソール、(図日ポイントサーバ、および エージェント が含まれます。) ・ Arcserve UDP コンソール、(図日ポイントサーバ、および エージェント が含まれます。) ・ Arcserve UDP コーシェント 変更トラッキング ドライバをインストールする(T) このドライバには、このシステムの増分が(シウアップを実行する場合に必要です。ただし、このシステムが仮想スタンバイ モニタまたはホストペース VM バックアップ プロキシとしてのみ使用される場合は必要かりません。</th></li<>	インストール タイプの選択: ・ インストールするコンボーネントの選択: ・ ・ Arcserve Unified Data Protection - エージェント ・ Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。) ・ Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。) ・ Arcserve UDP エージェント のみが含まれます。) ・ Arcserve UDP コンソール、(図日ポイントサーバ、および エージェント が含まれます。) ・ Arcserve UDP コンソール、(図日ポイントサーバ、および エージェント が含まれます。) ・ Arcserve UDP コーシェント 変更トラッキング ドライバをインストールする(T) このドライバには、このシステムの増分が(シウアップを実行する場合に必要です。ただし、このシステムが仮想スタンバイ モニタまたはホストペース VM バックアップ プロキシとしてのみ使用される場合は必要かりません。
<u>テレッシーゼンター</u> バージョン 6.5 (ビルド 4175)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

※インストールするコンポーネントを個別に指定したい場合は、「<u>3.補足情報</u>」を参考に [インストール タイプの選択]メニューで[高度なインストール]を選択し、必要なコンポーネントを指定します。

(5) [デスティネーション フォルダ]

インストール先フォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

	Arcserve of	nined Data Protection	1251999	
arcserve	unified data p	rotection		
 ✓ 使用許諾契約 ✓ インストールの種類 → デスティネーション フォルダ 	デスティネーション フォルダの選 C:¥Program Files¥Arcserv	訳: e¥Unified Data Protection¥	8	参照(0)
環境設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストールレポート	必要な領域: C で使用可能な容量:	7.39 GB 113.92 GB		
<u>リリースノート</u> <u>ナレッジ センター</u> バージョン 6.5 (ビルド 4175)			57(0)	
(,)) (i) (C)((11/3)			< 戻る(B) 次^	(N) >

(6) [環境設定]

使用するプロトコルを「HTTPS」または「HTTP」から選択します。また、ブラウザでリモート管理を 行うためのポート番号を確認します。デフォルトで設定されるポート番号はエージェントが「8014」、 コンソールが「8015」です。ここで登録したポート番号を使用して UDP を操作します。 (本ガイドでは「HTTP」を選択しています) UDP で使用する Windows 管理者の名前 [ユーザ名] を 確認し、[パスワード] を入力し、[次へ] をクリックします。

	Arcserve Unified Data Protection セットアップ
arcserve	unified data protection
 ◆ 使用時主義契約 ◆ インストールの種類 ◆ デスティネーション フォルダ >> 環境設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストールレポート 	環境設定 「川丁戸 ▼ 「「」」」」 「川丁戸 ▼ ● 法: より安全な通信のためには、HTTPS の通信プロトコルが推奨されます。 「「「」」」 ● 法: より安全な通信のためには、HTTPS の通信プロトコルが推奨されます。 「「「」」」 ● 法: より安全な通信のためには、HTTPS の通信プロトコルが推奨されます。 「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」
製品情報 リリース ノート ナレッジ センター	
バージョン 6.5 (ビルド 4175)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(7) [データベースの設定]

UDP が使用するデータベースを設定します。標準では Microsoft SQL Server 2014 SP2 Express が 製品に添付されています。確認し、[次へ]をクリックします。

	Arcserve Unified Data Protection セットアップ
arcserve	unified data protection
 ◆ 使用許諾契約 ◆ クンストールの種類 ◆ デスティネーション フォルダ ◆ 環境設定 ◆ データベースの設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストールレポート 	データベースの設定 データベース: Microsoft SQL Server 2014 Express (含む) 、 インストール フォルダ: C*Program Files¥Microsoft SQL Server
製品情報 リリースノート ナレッジ センター	
バージョン 6.5 (ビルド 4175)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(8) [ファイアウォールの例外]

利用するプログラムを Windows ファイアウォールの例外として登録します。

内容を確認し、[次へ] をクリックします。

arcserve	Arcserve unified data	Unified Data Protection セットアップ protection
 ◆ 使用時認知約 ◆ インストールの種類 ◆ デスティネーション フォルダ ■ 環境部分支 	ファイアウォールの例外 以下のプログラムを Windows	。 5 ファイアウォールの例外として登録します:
 マラストールの重相 デスティネーションフォルダ 環境設定 データベースの設定 ファイアクラールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストールレポート 	サービス/プログラム CASDataStoreSvc AFD2DMonitor.exe RPSReplication.exe HATransCloudServer GDDServer.exe SetupWrapper.exe ARCUpdate.exe tomcat8.exe httpd.exe	152 C: Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥DataStoreInstServI C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥RAFD2DMonitor.exe C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥RAFSRepIcation.exe C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥HATransCloudServe C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥HATransCloudServe C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥GDDServer.exe C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Management¥Setup¥Setup¥Catup¥ra C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Update Manager¥ARCUpdate.exe C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Common¥TOMCAT¥bin¥tomcat C: ¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Common¥Apache¥bin¥httpd.exe
製品情報 リリースノート ナレッジ センター パージョン 6.5 (ビルド 4175)		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(9) [メッセージ]

セットアップの検証が完了し、インストールの準備が整いました。[次へ]をクリックします。

	Arcserve onlined Data Protection 2917997
arcserve	unified data protection
 使用許諾契約 インストールの種類 デスティネーションフォルダ 環境設定 データベースの設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストールレポート 	メッセージ セットアップによる検証が完了し、選択されたコンポーネントをインストールする準備が整いました。
製品情報 リリースノート ナレッジ センター	
バージョン 6.5 (ビルド 4175)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(10) [サマリ]

設定の内容に相違が無いか確認した後、[インストール]をクリックし、インストールを実行します。

Arcserve Unified Data Protection セットアップ					
arcserve	unified data protectio	n			
 ◆ 使用許諾契約 ◆ インストールの種類 ◆ デスティネーションフォルダ ◆ 環境設定 ◆ データベースの設定 ◆ ファイアウォールの例外 ◆ メッセージ 	サマリ [インストール]をクリックして以下の設定でインスト- □ Arcserve Unified Data Protection インストール パス ③置うりトコル □ Arcserve UDP エージェント ■ よいにの	ールを開始するか、[戻る]をクリックして設定を変更します。 C+¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥ HTTP			
 サマリ インストールの道参状況 インストールレポート 	ホト番号 ドライ/びの/ンストール ● Arcserve UDP コンソール ポート番号	8014 (\$\$\) 8015			
<u>製品情報</u> リリースノート ナレッジ センター パージョン 6.5 (ビルド 4175)		< 戻る(B) インストール(I) キャンセル			

(11) [インストール レポート]

インストールと環境設定の完了を確認し、[完了]をクリックします。

※デフォルトでは、[更新を今すぐ確認する] にチェックが入っていますが、本ガイドでは、**チェックを 外して**更新の確認手順は割愛します。

	Arcserve Unified Data Protection セットアップ
arcserve	unified data protection
 ◇ 使用計書読契約 ◇ インストールの種類 ◇ デスティネーション フォルダ ◇ 環境設定 ◇ データベースの設定 ◇ フィイアウォールの例外 ◇ メッセージ ◇ サマリ ◇ インストールの道想状況 ◆ インストールレポート 更新の確認2 	 ◇ インストールが完了しました。 Arcserve Unified Data Protection 製品は正常にインストールされました。 ◇ 更新を今すぐ確認する(C) インストール ウィザードを終了するには、「完了]をクリックしてください。 Arcserve UDP エージェント for Linux のインストール Arcserve UDP エージェント for Linux (た)物理(仮想 Linux マジンの環境に対して推設されます。互換性のある Linux バージョンに対して、 Linux ノードのエージェント for Linux (た)物理(仮想 Linux マジンの環境に対して推設されます。互換性のある Linux バージョンに対して、 Linux ノードのエージェント for Linux (た)物理(仮想 Linux マジンの環境に対して推設されます。 エージェントレス ブランで「保護されている VM に対する詳細ファイル/フォルダ リストアを提供します。 Arcserve UDP エージェント for Linux をダウンロードしてインストール
製品情報 <u>リリースノート</u> ナレッジ センター	
バージョン 6.5 (ビルド 4175)	完了(F)

1.3 ライセンス キーの登録

(1) [ライセンス登録画面の起動まで]

インストール完了後、管理者権限のあるユーザ(ここでは Administrator)でログインし、スタートメニューから、[Arcserve UDP コンソール]を起動します。

アプリ _{名前順 >}	
1	Arcserve
Internet Explorer	Arcserve UDP Exchange Gr… NEW
τ	Arcserve UDP エージェント NEW
፲	Arcserve UDP エージェント モー・ NEW
Ł	Arcserve UDP コンソール NEW
٩< ٢ - ٢	O Arcserve UDP プートキットの… NEW

UDPのログイン画面が表示されます。インストール時の[環境設定]で設定したユーザ名(上段)、

パスワード(下段)を入力し、[ログイン]をクリックします。

※ UDP コンソールを導入したサーバ上で、UDP コンソールのログイン画面を表示した場合は、「現在の Windows 認証情報(IWA)を使用してログインします」をクリックすると、ログイン操作を行わずに UDP コンソールを表示できます

	_ D X
(今) A http://localhost:8015/authenticationendpoint/lc クマ C Arcserve Unified Data Pr ×	
7-tf2 administrator	
バーション 63.4175 Update 4 ビルド 1223	
現在の Windows 認証情報 (<u>WAA) を使用してログイン</u>	
します。	

ログイン後、画面右上の[ヘルプ]から、[アクティベーションとライセンス]をクリックします。

← ⓒ	_ □ ×
arcserve° unified data protection والمعالي المحالية المحالي محالي محالي المحالي ال	Administrator ・ ヘルク・
ダッシュボード リソース ジョブ レボート ログ 設定 ハイアベイラビリティ	オンライン サポート Arcserve UDP コミュニティ(英語のみ) ビデオ(英語のみ)
環境設定ウィザード	アクティベーションとライセンス
Arcserve UDP 環境設定ケザードへようこそ	バージョン情報

(2) [ライセンス管理]

[ライセンス管理]を選択して下欄に25桁のライセンスキーを入力し、[追加]をクリックします。

アクティベーションとライセンス					6)
製品アクティペーション ライセンス	、管理 トライアルの	延長			
Arcserve UDP のライセンスを管理するには、ライセンス どを行う場合は、Arcserve ライセンス ボータルにロゲイ	、管理を使用します。このアクラ ンしてください。	イベーションへのライ	センス オーダーの追加	、ライセンスプールの教堂の更新、その他のア	カント全般の管理な
Arcserve ポータルを開く					
Arosenve UDP ライセンス			Ŧ	ライセンスされたノード	•
ライビンス名	승락	空き容量	ライセンスなし	ノード名	ノードタイプ
				14 4 R-9 🗔 🕨	н I &
ABODE-FGHIJ-KLMNO-PQRST-UVWXY	× ista		更新	解放	書的当て
					開Uる へル7

(3) 登録した[コンポーネント名] (製品名)を確認し、[閉じる]をクリックし画面を閉じます。 以上でインストール、およびライセンスの登録は完了です。

製品アクティベーション うイセンス管理 トライアルの 延長 coserve UDP 03 ft2/25 世話す 3には、ライセンス 管理後期します。このアウティベーションへのライセンス オーダーの追加、ライセンス オータの 世面の アカウント 全般の 管理な Accerve XIDP 3 ft2/25 世話での インス (CESU)、 Accerve XIDP 3 ft2/25 せん (CESU)、 Moderne LDP 3 ft2/25 th2/1 (CESU) Moderne LDP 4 ft2/25 th2/1 (CESU) Moderne LDP 4 ft2/25 tt2/1 (CESU)						
serve LDP 05イセンスを特徴するには、5イセンス 割分換に関 ゲイレス くらび つ アウティベーション ハのうイセンス オーダーの追加、5 イセンス オールの 働車の 更新、その他の アカウント 全般の 管理な You are not an	製品アクティバーションライセンス管理	トライアルの	延長			
Anceve X - 2025版 Anceve UDP 3/12)X Anceve	serve UDP のライセンスを管理するには、ライセンス管理を使 行う場合は、Arcserve ライセンス ボータルにロサインルでだき	「用します。このアクテ S(1)	・イベーションへのラー	イセンス オーダーの追加	、ライセンス ブールの数量の更新、そ	の他のアカウント全般の管理な
Average LDP 51222 31228512 7122281.5/-F 12228 631 28532 7122281.5/-F 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Arcserve ポータルを開く					
12023名	roserve UDP ライセンス				ライセンスされたノード	
vocence LDP v6.5 Advanced Edition - Server 1 1 0 K シンロ X シンロ ズ ジンロ ズ ジンロ ズ ジンロ (K く スータ こ ハ i > N i を デーカロレ (K く スータ こ ハ i > N i を デーカロレ	他汉者	솖카	皇容容皇	うれとしスなし	ノード名	ノードタイプ
X 運転	roserve UDP v6.5 Advanced Edition - Server	1	1	0		
X 第3600 第3600 第3600 第3600						
X 通知 1850 1850 1850 1850						
x 通知 更新 解放 意知当						
					1 (R-3 [)	/1 > 11 🌚 チーカなし
	×	通知		更新	11 4 1 A-2 () ASD	ハート)」 🌚 チーカなし 2019年

2. 運用開始のための設定

UDP インストール後、管理コンソールを起動すると、[環境設定ウィザード] が自動的に起動します。 このガイドでは、[環境設定ウィザード] を利用してデータストアの作成と Windows サーバのバックアップ プラン の作成方法を説明します。

2.1 環境設定ウィザード

(1) [Arcserve UDP 環境設定ウィザードへようこそ]

環境設定ウィザードを利用して、バックアップ プランを作成します。[次へ] をクリックします。

. http://localhost:8015/management/ 𝒫 - C	∩ ★ 9
CITCSETVE* unified data protection ミュニャーパムが明にきません。 ロ ひょうせつづい)・ Administrator・	^ <i>J</i> i⊅ *
ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 ハイアベイラビリティ	
環境設定ウィザード	
Arcserve UDP 環境認定ウィザードへようこそ	
プン 増加すった。デージをパックアッグは、必要に応じて復旧またくたに追加の保護や3.2を定けることにより、デージを保護する方法を管理す 多のに他が支持す。これには、レデリケーション、地域スタンパイ、デーデルの増加オイントのエピーなどが含まれます。 このウィザードでは、供護対象ノードからデージをパックアップするシップルな保護オランを作成する手順を示します。	
1.保護プランで提供する保護の任我性化にします。 エージェントパースパップアップを介してWindows または Linux マシンを保護できます。またはホストパース エージェントレス パック アップを介して 低潜マシンを保護できます。	
2. 保護するノーやを追加します。 保護の種類に応じて、ノードを採出あよび追加する方法を選択できます。	
3.パックアップのデスティネーションを選択します。 ネットワーク共有、保護されているノード上のポリューム、復旧ポイント サーバ上のデータ ストアを選択できます。	
□次からこのページを表示しない	
	してて+03:00 日本標準

(2) [ステップ 1/5: 保護タイプの選択]

[プラン名]を入力し、[保護するノードの種類]を選択し、[次へ]をクリックします。

本ガイドでは、[バックアップ:エージェント ベース Windows]を選択します。

			- 0 ×
← → A http://localhost:8015/management/	ク・C Arcserve Unified Data Pr ×		ሰ 🖈 🛱
		–∛ (1) × Administrator × /	∿ ⊮⊅ •
	ト ロク 設定 ハ1 アヘ1フビリアイ		
環境設定ウィザード			
ステップ 1 / 5:保護タイプの選択	र		
プランの名前を指定し、保護するノードの	種類を指定してください。		
プラン名	物理サーバのバックアップ		
保護するノードの種類	No/TP-7 エージェントペース Windows No/TP-7 エージェントペース Windows No/TP-7 エージェントペース Undows No/TP-7 エージェントペース Linux		
ヘルプ	前に戻る	次へ キャンセル	
Copyright & 2017 Arcserve (USA), LLC and its affiliates and subsidiaries. Al	rights reserved.	UTC	3408:00(日本標準時)

(3) [ステップ 2/5: 保護するノードの追加]

[ホスト名/IP アドレス] にバックアップ対象の ノードを入力し、[ユーザ名] と [パスワード] を入力し、 [リストに追加] をクリックし、右側の [ノード名] リストに保護対象が追加されることを確認し、 [次へ] をクリックします。

現境設定ウィザード > プ	ホート ロク 設定 ハイアヘー	172,971	
ステップ 2 / 5: 保護するノー ノードを検出するために使用する方:	この追加 まを選択し、必要な情報を入力して、[リストに追加 ノードの注意の	10]をクリックします。	^
ホスト名/ア アドレス	W2K6UDP65a	 ノード名 - つうちょ(-とうびぼうものの) 	- UMIRHOS N TYLAH
ユーザ名 パスワード	Administrator		TRANSPORTS SPRACE
意义8月		リストに3度加	

※UDP コンソールへのバックアップ対象の追加は、[リソース]タブの左ペインの [ノード] から [すべてのノード] を選択した画面でも実行できます。

(4) [ステップ 3/5: デスティネーションの選択]

バックアップ先を指定します。バックアップ先に RPS を指定する場合は、データストアを 作成する必要があります。

[データストア] - [作成] をクリックします。データストア作成後、[次へ] をクリックします。

-
—

※本ガイドの[1.2 インストール]に従っている場合は RPS を含むすべてのコンポーネントが インストールされていますので、デスティネーションにローカル サーバが表示されています。 他の復旧ポイントサーバを指定する場合は、[追加]をクリックして登録してください。 尚、環境設定ウィザードの完了後に復旧ポイントサーバを追加する場合は、 [リソース]タブの 左ペインの [デスティネーション] から[復旧ポイント サーバ]を選択して、[復旧ポイント サーバの追加]から登録してください。 [ステップ 3/5: デスティネーションの選択] | データストアの作成 [データ ストア名] を入力し、 [データストア フォルダ] を指定します。 デフォルトでは[データのデデュプリケート]のチェックがされており、バックアップデータの重複排除 機能が有効になっています。(本ガイドではデフォルト設定のまま作成を行います) 重複排除を有効化したデータストアを作成する場合、[データストア フォルダ]と以下のフォルダを指定 して[次へ] をクリックします。

- ・データ デスティネーション
- ・インデックス デスティネーション
- ・ハッシュ デスティネーション

			_ 0 ×
A http://localhost:8015/management/	Arcserve Unified Data Pr ×		
	ed data protection @ 更新分一所组织用できません。 (0 メッセージ)	(1) • Admin	istrator * ヘルプ・
ダッシュボード リソース ジョブ レポー	ト ロゾ 設定 ハイアベイラビリティ		
環境設定ウィザード			
ステップ 3 / 5: デスティネーションの	の選択 データ ストアの作成		
<u>ም</u> ータ ストア名	DS	٦	^
データ ストア フォルダ	D:#DataStore#DataStore	参照	
同時アクティブ ノードの制限	4	_	
☑ デデュプリケーションの有効化			
デデュプリケーション ブロック サイズ	16 KB 🝷 🔐 デデュプリケーション 🚽 テープ パックアップ 🚮 リストア		
ハッシュ メモリの割り当て	6884 MB (最大: 12287 MB、最小: 1024 MB)		
□ ハッシュ デスティネーションは S	SD (Solid State Drive) 上にある	_	
データ デスティネーション	D:¥DataStore¥data	参照	
インデックス デスティネーション	D:#DataStore#Index	参照	
ハッシュ デスティネーション	D:#DataStore#hush	参照	
☑ 圧縮を有効にする			~
へルプ	前に戻る	次へ	キャンセル
Copyright © 2017 Arcserve (USA), LLC and its affiliates and subsidiaries. All ri	ights reserved.		UTC+03.00 (日本標準時)

※注意:

デフォルトの設定の [デデュプリケーションの有効化]では、重複排除時の比較処理でデータ量に応じ メモリが消費されます。環境にて十分なメモリがあることをご確認ください。 デフォルトの [デデュプリケーション ブロック サイズ] は、16KB です。 デデュプリケーション ブロック サイズは、4KB、8KB、16KB、32KB、64KB から選択できます。 必要となるメモリおよびストレージ容量については画面下の[要件プランニングの クイック リファレンス]にて推定することができますので参考にしてください。

(5)	[ステップ 4/5: バックアップ スケジュールの設定]
	バックアップスケジュールを確認し、[次へ] をクリックします。
	デフォルトの設定では以下の設定が行われています。必要に応じてスケジュール変更してください。
	・UDP エージェントのインストール : インストールした日の 21 時

- ・最初のバックアップ(フル バックアップ):インストールした日の22時
- ・日次バックアップ(増分) : 22 時

	トログ設定	እኅ ም	ベラビリ	ティ			
環境設定ウィザード > プラン	:物理サーバのバッ	クアップ					
ステップ 4 / 5: バックアップ スケジ	ュールの設定						
Arcserve UDP エージェント インストール	. 最初のパックアップ、後続の	り日次パックアッ:	うのスケジ	ュールを設	定します。		
UDP エージェントのインストール	2017/06/15	21	Ψ :	00	-		
最初のバックアップ (フル バックアップ)	2017/06/15	22	•	00	-		
日次パックアップ(増分)	22 💌 : 00	-					

※バックアップ スケジュールの設定を変更する場合、環境設定ウィザードの完了後、[リソース]タブの 左ペインの [プラン] から作成したプラン名を選択し、右クリックのメニューから[プランの変更] を選択 して[スケジュール]の設定を変更してください。

※注意:

バックアップ対象ノードにコンポーネントがインストールされていない場合、 [UDP エージェントのインストール] のスケジュールに従って自動でリモートインストールを行います。 リモート インストールの際、約 900MB のインストール モジュールが対象ノードに転送されます。 リモート インストールを制限する場合、事前に手動にてインストールを実行してください。 (6) [ステップ 5/5: 確認]

プランの詳細を確認し、[次へ]をクリックします。

← → <u>∧</u> ht	tp:// localhost :8015/managem	ent/	¢ + ¢ ∧ Arc	serve Unified Data Pr ×	□ x
arc	cserve°	unified data pi	otection & 更新サーバ该使用	できません。 I 🚺 メッセージ (1) · Administrat	ar ד ∧אלל ד
ダッシュア	ドード リソース ジョブ	レポート ログ 讃	定 📋 ハイ アベイラビリテ	1	
	環境設定ウィザード				
	ステップ 5 / 5: 確認				
	プランの詳細を確認します。プラ	シを編集するか、必要に応じ	て別のプランを作成します。		
	⊕ プランの作成	削除			
	プラン名	保護対象ノード 1 エージャントバーフ	デスティネーションの選択 understar > DS	パックアップ スケジュール 最初のパックアップ 2000 日ンケパックアップ 2000	
	12P± 0 =7 10/ 1707 772	CT-212HV-X	uup-sw 2 bo	■ (19979)-22-00 □ (17(19979)-22-00	
	้ ไม่ว่			前に戻る 次へ キャ	1211
yright © 2017 Arcse	rve (USA), LLC and its affiliates and subs	idiaries. All rights reserved.			してい3:00 (日本標準

環境設定ウィザードにて [完了] をクリックします。

∍ ∧ ⊪ arc	ttp://localhost:0015/management/ 오 - د م Arcserve Unified Data Pr ×	£ الالا∧
ダッシュァ	ボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 ハイアベイラビリティ	
	環境設定ウィザード	
	次の手順	
	 クランの環境設定が完了し、Arcserve Unitied Data Protection を使用する準備ができました。Arcserve Unitied Data Protection では、次のことが実行できます。 ⑦ 保護するノードを追加します。 ⑦ 仮見スタンパイ、ファイル コピー、レクリアーション、その他多くの機能を使用してブランをカスタマイズします。 ◎ 復日ネイント サーバあまびデータ スト アを含めることおり、デスティネーションを追加します。 ウィザードを終了するには、「完了」をクリックします。 	
	ヘルプ 前に戻る 完了 キャンセル	

作成済みのプランの設定(バックアップ対象、バックアップ先、スケジュールなど)を変更する場合、 左ペインの [プラン] - [すべてのプラン] から対象のプランを選択し、右クリックのメニューから[プラ ンの変更]をクリックして、変更することができます。

									- 0 ×
A http://localhost:8015/i	management/		Ş	5-0	🔨 Arcse	rve Unifie	ed Data Pr ×		n ★ ∅
arcserve	° un	ified data protec	tion®	更新サーバ	を使用でき	はせん。	l の メッセージ (1)	* Administrator *	^///プ ・
タッシュホード リソース	ショフレル	ボート ロク 設定	71	アベイフは	2977				
	≪ プラン:	すべてのプラン						>>	
▲ ノード すべてのノード	アクショ	シ ・ プランの追加						✿ 環境設定ウィザード	
プランのないノード		プラン名		(#:	渡ノード		ステータス	関連する詳細を表示するために、プランを選	択します。
▶ プラン グループ			合計	0	0	0			
すべてのプラン		<u>物理サーバのバックアップ</u>	1	0	1	0	✓展開:成功(1)		
 (期日ボイントサーバ Arcserve Backup サーバ 共和ラオルジ クラウドアガント インフラストラグチャ ストレージ アレイ インスタント VM サイト SLA ブロファイル 							,		
	14 4	ページ 1 1 🕨 🔰 🧉	9				1 - 1/1 の表示		
Copyright @ 2017 Arcserve (USA), LLC and its affilia	ates and subsidiaries	s. All rights reserved.						UTC	0+09:00 (日本標準時)

3. **補足情報**

[インストールタイプの種類]

インストールするコンポーネントを個別に指定する場合、[インストール タイプの選択]で[高度なインストール] を選択します。



■コンソールのインストール

[Arcserve UDP コンソール] のみ選択します。

Arcserve Unified Data Protection セットアップ								
arcserve	unified data protection							
 ✓ 使用許諾契約 インストールの種類 デスティネーション フォルダ 環境設定 データベースの設定 	インストール タイプの選択: 高度なインストール ✓ インストールするコンポーネントの選択: コンポーネント	25-92						
ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況	Arcserve UDP I → ジント	インストールされていません インストールされていません インストールされていません						
インストール レホート	環境を一元管理し、そのステータスに関するレポートを生成します。Arcserve ハイパーバイゲーよって管理される仮想マシンのティスカバリ、プランの作成とノー ポートを行うことができます。	UDP コンソール を使用して、ノードの追加と削除、 ドへの割り当て、およびバックアップ ジョブ結果のレ						
製品情報 リリースフート ナレッジ センター								
パージョン 6.5 (ビルド 4175)	< 戻?	5(B) 次へ(N) > キャンセル						

■復旧ポイントサーバのインストール

復旧ポイントサーバのみを構築する場合、[Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ]を選択します。復旧ポイントサ ーバインストール時には自動的に[Arcserve UDP エージェント]もインストールします。



4. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、 ウェブサイトより確認してください。

4.1 **製品情報および FAQ はこちら**

Arcserve シリーズ ポータルサイト

https://www.arcserve.com/jp/

動作要件

https://support.arcserve.com/s/article/212366726?language=ja

注意/制限事項

https://support.arcserve.com/s/article/115000773286?language=ja

その他、技術情報など(エラー、情報、パッチダウンロード)

https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3pdWAC/arcserve-udp?language=ja

マニュアル選択メニュー:

https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3poWAC/arcserve-udpdocumentation?language=ja

4.2 トレーニング情報

4.2.1 無償トレーニング

どなた様でも参加いただけますので、この機会にご活用ください。 半日で機能を速習する Arcserve シリーズの 無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施して います。 (競業他社の方はお断りしております。)

https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/seminar/